

令和7年度
「誰もが気軽にスポーツに親しめる場づくり総合推進事業
(地域スポーツの場づくり普及啓発事業)」

公募説明会

開始までお待ちください。

皆様、以下の設定を行ってください。

- 表示される名前を「自治体・会社・団体名_氏名」（例：スポーツ庁_●●）
 - ①画面下部のメニューから「参加者」をクリック
 - ②自分の名前にカーソルを合わせ、「詳細」をクリック
 - ③「名前の変更」をクリック
 - ④表示させる名前を入力し、「OK」をクリック

<本日の流れ>

1

公募内容の説明

- ①本事業について
- ②令和7年度の事業について
- ③総合評価落札方式に係る事務手続き

2

質疑応答

挙手ボタンより、手を挙げて質問してください

①本事業について

誰もが気軽にスポーツに親しめる場づくり総合推進事業

令和7年度当初予算額

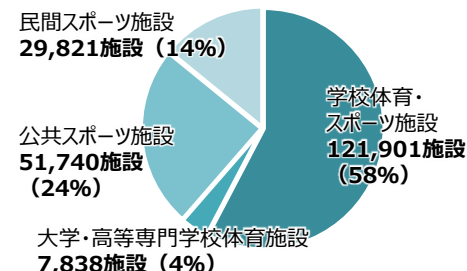
29,100
千円
58,000千円
(前年度予算額)



現状・課題

- **地域の施設の老朽化、財政の制約、人口減・少子高齢化等の社会の変化に伴う住民ニーズの変化**にに応じ、スポーツ施設の計画的なストックマネジメントの下で、地域において**誰もが気軽にスポーツに親しむことができる場の量的・質的な充実**が、なお一層求められている。

- 持続可能な地域におけるスポーツ環境を確保、充実していくため、公立スポーツ施設だけでなく、学校体育施設・民間スポーツ施設など**既存ストックをフル活用**するとともに、誰もがアクセスでき、地域でより活用される、**誰もが気軽にスポーツに親しめる場づくりについてのソフト面での事業を総合的に実施・推進**する。



大学・高等専門学校体育施設
7,838施設 (4%)

[出典]令和3年度体育・スポーツ施設現況調査

事業内容

事業実施期間

令和元年度～

社会体育施設
学校体育施設

①社会体育施設等地域スポーツ活動拠点化推進事業

○説明会等の開催

令和6年度にとりまとめた**地域の核となる新たなスポーツ施設のあり方や、好事例について普及・横展開**を図るため、自治体、民間事業者等に対する説明会等を開催。自治体における取組を促進するとともに、意見交換等を通じて自治体から課題やニーズ等を汲み取る。



○個別の伴走支援

検討する自治体等に対し、事業の進め方等について専門家（コンサルタント）の派遣・視察等を通して**アドバイスや検討等を行う伴走支援を実施**。

多機能型スポーツ施設



スポーツ施設の複合化により、住民のウェルビーイングの実現や地域課題の解決へつなげた例。

学校体育施設の地域への開



建替えにあわせ、小学校内のプールを授業で使わない時間に、地域住民も利用可能とした例。

14百万円
国→民間団体

普及啓発

②地域スポーツの場づくり普及啓発事業

○セミナー等の開催

地域スポーツ環境の量的・質的な充実に向け、スポーツの場づくりに関する取組について、自治体や民間事業者等に**セミナー等の開催を通して普及啓発し、取組の促進を図る**。

- ・ 民間スポーツ施設の持続的な経営のあり方
- ・ スポーツ施設の安全管理等
- ・ スポーツ施設の官民連携（PPP/PFI等）による整備・運営
- ・ オープンスペースを活用した身近なスポーツ・運動環境の充足 など



○スポーツ・健康まちづくりデザイン 学生コンペティションの開催

まち全体がスポーツに親しめる場となり、どこでもスポーツに親しむことができる空間を実現していくため、**学生からアイデア・デザインを募集し、優れた作品を表彰**。

令和6年 開催内容

アイデア部門	・ 気軽にスポーツに親しめることができるよう、まちなかでの活動シーンに着目し、そのシーンを実現するためのアイデアを募集	事前エントリー期間 ～8/30(金)～	募集期間 レクチャー・情報提供 ● 審査員によるセミナー形式のレクチャー 8月19日の2日間 ※調整中 ● スポーツ庁からの情報提供 作品募集～9/25(水)まで	1次審査 書類審査 各部門から10作品を抽出し、各1点ずつを表彰	2次審査 プレゼンテーション ● 審査員による 受賞者の中から各1点ずつを表彰 ● 審査員賞 優秀賞 11月上旬	受賞特典 ● 受賞者から選出された自治体・民間団体へ、サテライトイベントの開催・機材提供・表彰状の交付
	・ アイデアを具体化した都市デザインを募集 建築・都市デザイン学生限定					



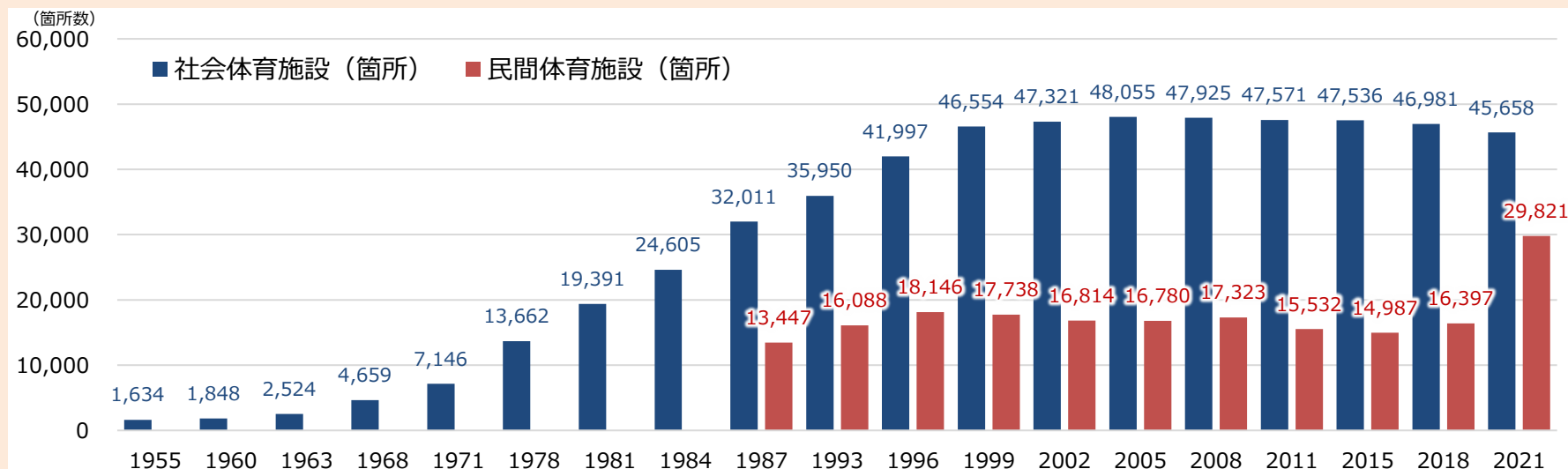
15百万円
国→民間団体

地域における誰もが気軽にスポーツに親しめる場づくり

本事業の概要について

運動・スポーツに親しめる場を取り巻く環境について

- 2021年の調査において、社会体育施設は45,658箇所、民間体育施設は29,821箇所（※推計値）となっており、社会体育施設は、2005年まで増加していたが、それ以降はわずかに減少している状況である。
- その結果、**国民が気軽にスポーツに親しむことができる場が減っている現状**がある。



※2021年の民間体育施設数は、都道府県別、産業省分類別、従業員規模別の母集団事業所数を反映したウェイトを用いた推計により作成

（出典）文部科学省「社会教育調査」

第3期スポーツ基本計画において…

[目標] 地域において **誰もが気軽にスポーツに親しめる場** づくりの実現



①ストック・マネジメント

（全体最適）

- 個別施設計画の内容充実・着実実行



②「量」的充実



- 学校体育施設の有効活用（開放・複合化）
- 民間スポーツ施設の公共的活用
- オープンスペース等の活用
- 既存施設の更なる活用（知恵と工夫）

③「質」的充実



- 民間活力の活用（PPP/PFIなど）
- ユニバーサルデザイン化
- 安全・安心
- DX化
- グリーン化

本事業の概要について

本事業の趣旨について

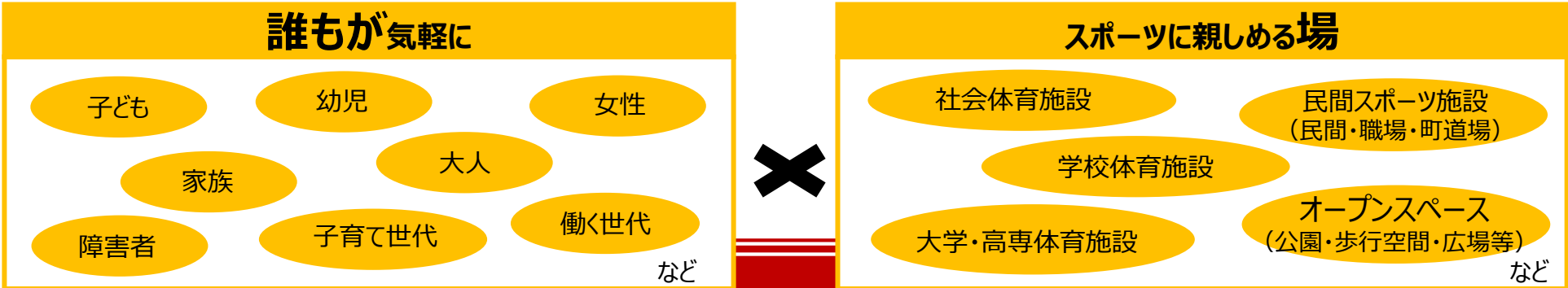
第3期 スポーツ 基本計画

(10) スポーツの推進に不可欠な「ハード」「ソフト」「人材」

①地域において、住民の誰もが気軽にスポーツに親しめる「場づくり」の実現

(「量」的充実)

ウ 国は、スポーツはいわゆる「スポーツ施設」以外でも広くできるという発想の転換を地方公共団体等に促すとともに、**スポーツが気軽にできる場としての公園、広場、緑道等のオープンスペース、庁舎施設や商業施設等の空きスペース等の多様な空間の積極的な有効活用**、自然と歩きたくなるまちづくり、障害者も自然と出歩きたくなるまちづくりの推進等、**施設以外にもスポーツができる場を住民ニーズに応じて知恵と工夫により創出する**取組を先進事例の情報提供等により推進する。



～する・みる・ささえる～

(効果の例)



②令和7年度の事業について

令和7年度「誰もが気軽にスポーツに親しめる場づくり総合推進事業
（地域スポーツの場づくり普及啓発事業）」

（１）セミナー開催（原則オンライン）

**（２）スポーツ・健康まちづくりデザイン学生
コンペティションの企画・開催**

R6年度事業 (1)セミナー開催 (原則オンライン)

地域スポーツ環境の量的・質的な充実に向け、スポーツの場づくりに関する取組について、自治体や民間事業者等にセミナーを通して普及啓発し、取組の促進を図る。

- ・セミナーの回数は4回以上(各回2時間程度)とする
- ・各回1人以上の有識者による講演を含むものとする
 - ー 下記の知見を有するもの等とする ー
 - 民間スポーツ施設の持続的な経営のあり方
 - スポーツ施設の安全管理等
 - スポーツ施設の官民連携（PPP/PFI等）による整備・運営
 - オープンスペースを活用した身近なスポーツ・運動環境の充足 等
- ・セミナー参加者に対してアンケート調査を実施する
- ・セミナーのテーマ設定は、適宜スポーツ庁と相談

場づくりセミナーの開催 (開催イメージ)

～	○講演者の調整・確定
1 か月前	○セミナー開催の告知 ・スポーツ庁HP・SNS（Facebook、Twitter）、Sports in Lifeメルマガ ・各都道府県スポーツ施設主管課及び各指定都市スポーツ施設主管課を通じて各市区町村へ周知 ＜準備物＞ 講演者氏名・所属、講演タイトル、関連する写真（チラシ用）
1 週間前まで	○講演者との接続テスト＋資料の構成等の協議
3 日前	○講演資料の締切提出（パワーポイント＋PDF）
3 日前	○参加受付締切（参加者へZOOMウェビナーのURL共有等）
前日	○セミナー参加者アンケート作成
前日or当日	○スポーツ庁HPにて、講演資料（PDF）公表 手元に資料を見ながら聞きたいという要望が多かったため。
本番	★オンラインセミナー開催（ZOOMウェビナー）
2 週間後目途	○参加者アンケート集計・とりまとめ

(参考) R6年度オンラインセミナー

127名の予約者のうち110名が視聴し、盛会となったと評価する

項目	実施概要
テーマ	スポーツ施設における安全管理、ユニバーサルデザイン等
開催日時	2024年10月31日（木） 14:00～16:00
場 所	配信拠点：デロイトトーマツコンサルティング合同会社 / 視聴者：Zoomウェビナー

項目			視聴者数 実績		
			視聴予約数 (当日含)	セミナー開始時 視聴数	最大 視聴数
全体			127	95	-
内訳	①【情報提供】	スポーツ庁	-	95	110
	②【情報提供】	国土交通省	-	107	110
	③【ゲスト講演】	水鳥寿思氏	-	108	109
	④【講演】	本間基照氏	-	110	110
	⑤【講演】	野川春夫氏	-	107	109
	⑥質疑応答・案内	全員	-	109	109

参加者110名のうち44名が回答し、その98%は「（とても）参考になった」と回答し、次回への参加意欲をみせた

参加者の特性

スポーツや関連施設関係部署の役職者が多く参加

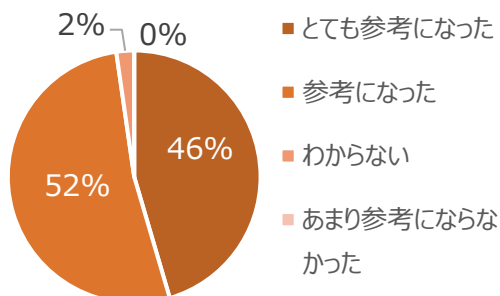
部署名	人数
スポーツ推進課	2
事務局	2
千葉指定管理	2
施設管理課	2
他役職	36
合計	44

役職名	人数
主事	4
係長	3
主査	2
事務局長	2
支配人	2
理事長	2
課長補佐	2
部長	2
他役職	19
合計	44

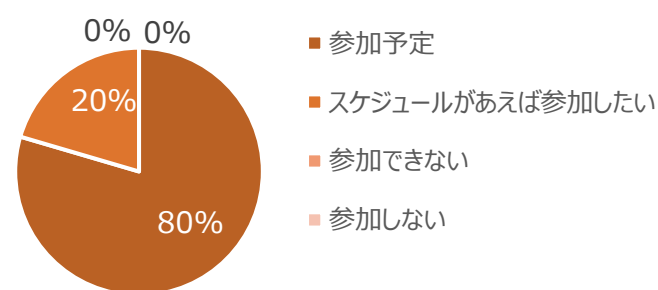
評価

参加者の98%は「（とても）参考になった」と回答し、次回参加に対しても意欲的であった

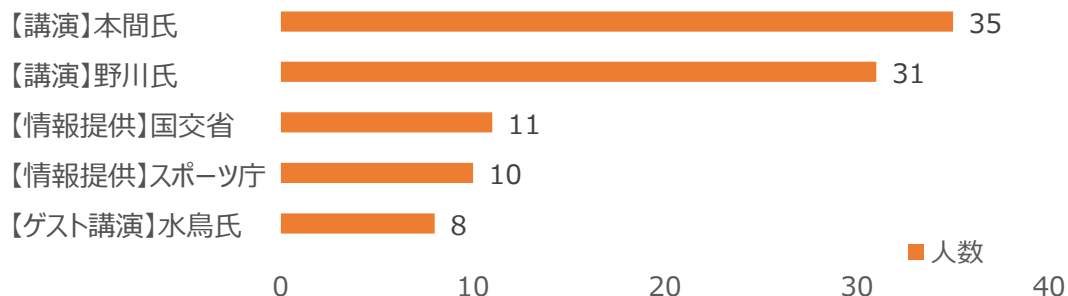
今回の満足度



次回の参加希望意欲



特に参考になった内容

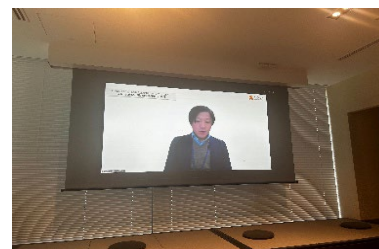
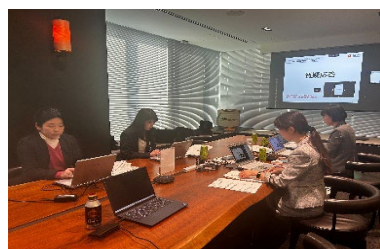


参加者の特性や、その他のアンケート結果は、次頁・別紙参照

(参考) R6 年度オンラインセミナー

147名の予約者のうち96名が視聴し、質問も多く出て盛会となったと評価する

項目			実施概要		
テーマ			スポーツ施設におけるPPP/PFIの活用		
開催日時			2025年1月31日（金） 15:00～17:00		
場 所			配信拠点：デロイトトーマツコンサルティング合同会社 / 視聴者：Zoomウェビナー		
項目			視聴者数 実績		
			視聴予約数 (当日含)	セミナー開始時 視聴数	最大 視聴数
全体			147	64	96
内訳	①【情報提供】	文部科学省	-	64	80
	②【情報提供】	スポーツ庁	-	79	89
	③【取組事例】	萩原昭洋氏	-	89	96
	④質疑応答・案内	全員	-	95	95
	⑤【取組事例】	関野大志郎氏	-	91	92
	⑥【講演】	永廣正邦氏	-	92	92
	⑦質疑応答・案内	全員	-	90	90



参加者96名のうち35名が回答し、その100%は「（とても）参考になった」と回答し、その多くが次回への参加意欲をみせた

参加者の特性

スポーツや関連施設関係部署の役職者が多く参加

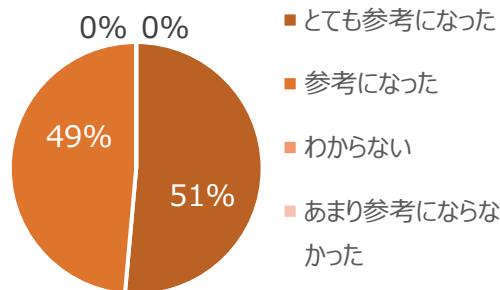
部署名	人数
スポーツ振興課	2
事務局	2
教育委員会	2
他役職	各 1
合計	35

役職名	人数
代表	5
主事	2
係長	2
他役職	各 1
合計	35

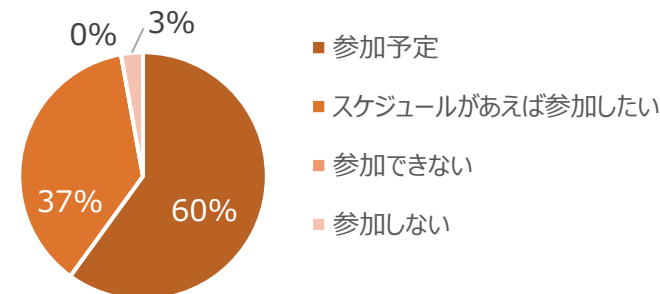
評価

参加者の100%は「（とても）参考になった」と回答し、次回参加に対しても意欲的であった

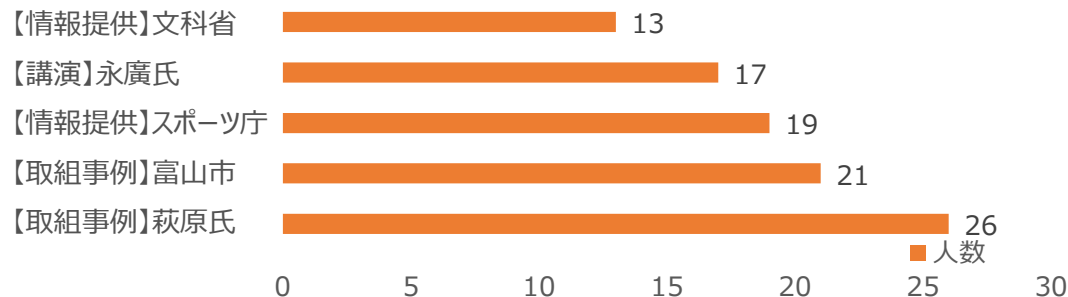
今回の満足度



次回の参加希望意欲



特に参考になった内容



参加者の特性や、その他のアンケート結果は、次頁・別紙参照

スポーツ・健康まちづくりに係る学生コンペの開催について

まち全体がスポーツに親しめる場となり、どこでもスポーツに親しむことができる空間を実現していくため、「都市デザイン」の観点を盛り込んだ「スポーツ・健康まちづくりデザイン」の推進に資する、学生からの多様な柔軟な発想のアイデアを募集。

- ✓ 身近なまちなかのスポーツ環境の創出や健康まちづくりに寄与する
- ✓ まち全体がスポーツに親しめる場となり、どこでもスポーツに親しむことができる“都市デザイン”のあり方の可能性を探る
- ✓ 将来的に、スポーツ庁で事業化していくための基礎的な考え方の素材とする

[イメージ]

スポーツ・
健康まちづくり

ソフト的な取組
点の取組

スポーツ・健康
まちづくりデザイン

まち全体まると
スポーツに親しむことが
できる「場」の具現化

都市
デザイン

都市計画・まちづくり
ウォーカブル等



■ 学生コンペ2024 開催内容

アイデア部門

- ・気軽にスポーツに親しむことができるよう、まちなかでの活動シーンに着目し、そのシーンを実現するためのアイデアを募集

全学生想定

デザイン部門

- ・アイデアを具体化した都市デザインを募集

建築・都市
デザイン学生
想定

<提案内容>

自治体の想いや課題

●個別デザイン

建築物や外部空間における階段やスロープ、歩道等の提案

●都市デザイン

まちづくり、都市計画として広域な視点での提案

事前エントリー・募集期間

7/16
～
9/30

募集期間

レクチャー

審査員によるセミナー形式のレクチャーを2回開催(8/27・9/5)

情報提供

スポーツ庁ほか、「ウェルビーイングなまちづくり」に関連する資料等の情報提供

1次 審査

10/9
～
10/21

各部門において、
受賞者を決める

2次 審査

11/6
プレゼン
テーション

長官賞

審査員賞

優秀賞

受賞特典

- 受賞学生から提案自治体（首長等）へのプレゼン機会・機関紙等掲載
- サーティフィケート（修了書）の付与

■ 学生コンペ2024 一次審査～二次審査について

参考



アイデア部門とデザイン部門の2部門による部門別の審査を実施。アイデア部門は、スポーツを中心としたwell-being（ウェルビーイング）なまちづくりに関する作品を募集。デザイン部門は、スポーツができる特定の「場」を核としたまちのデザインに関する作品を募集。

アイデア部門

「スポーツを中心としたwell-being（ウェルビーイング）なまちづくり」

スポーツを通じた**ライフパフォーマンスの向上**や**健康づくり**に資する、まちなかの具体的な活動シーンを実現するためのアイデアを募集

デザイン部門

「スポーツができる特定の「場」を核としたまちのデザイン」

スポーツ施設、遊休地、河川沿いなどあらゆる「場」を地域の核として位置づけ、誰もが気軽にスポーツに親しむことができるまちのデザインを募集

エントリー学生の
リストアップ等※

※エントリー数を増やすための広告等の作成

オンラインレクチャー
(オンラインレクチャーの
運営業務等)

一次審査
(作品の書類審査の
手続き等)

二次審査
(プレゼン当日の
運営業務等)

■ 学生コンペ2024 審査員 審査員への各種(委嘱等)手続き等



室伏 広治

スポーツ庁長官
※二次審査から参加



花里 真道

千葉大学 予防医学セン
ター 健康都市空間デザ
イン学分野
准教授



川田 翔子

京都府八幡市市長



飯石 藍

都市デザイナー/
公共R不動産コーディネ
ーター/
株式会社nest 取締役



福岡 孝則

東京農業大学 地域環境
科学部 造園科学科
教授/
IAKS Japan 副会長



三浦 詩乃

一般社団法人ストリート
ライフ・メイカーズ
代表理事/
中央大学 理工学部 都市
環境学科 准教授



藤村 龍至

東京藝術大学美術学部
建築科 准教授/
RFA主宰



七尾 克久

株式会社三井不動産
日本橋街づくり推進部
部長

(敬称略)

■ 学生コンペの参加特典・受賞特典

参考

参加特典

① サーティフィケート（修了書）の付与

- ・ 参加特典として、スポーツ庁独自の「サーティフィケート(修了書)」を付与。

サーティフィケート(修了書)とは・・・？
→ 専門的なスキルや知識を示す
価値のある修了書

付与条件：コンペの趣旨を踏まえ、作品を応募すること

メリット：

- ✓ 参加者の満足感をよりカタチにできる
- ✓ 就職活動などで当コンペに参加したことをポートフォリオに記載できる



作品応募者へ対して
サーティフィケートを発行

長官賞の特典

① 長官からの賞状授与

- ・ 長官賞を受賞した学生へ、プレゼン会場へ登壇のうえ、賞状を授与。



令和5年度
長官賞（アイデア部門）
九州共立大学

令和5年度
長官賞（デザイン部門）
関西大学大学院

② 各種情報媒体への掲載など

- ・ 機関紙等へアイデアや一連の取組
取材、記事化し、広く発信
➢ スポーツ庁 Web広報マガジン
DEPORTARE（デポルタレ）
➢ 「月間体育」等

スポーツ庁 Web広報マガジン
DEPORTARE
デポルタレ



③ 提案自治体へのプレゼン機会

- ・ 受賞した学生が提案した自治体の
首長等へプレゼンする機会を設定し、
提案を自治体へフィードバック



長官賞を受賞した関西大学大学院の学生による
八幡市 川田市長へのプレゼンの様子

■ 学生コンペ2024 二次審査当日の様子

参考

二次審査会場の様子



二次審査後の懇親会の様子



③総合評価落札方式に係る事務手続き

総合評価基準

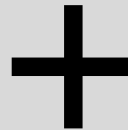
＜落札者の決定方法＞

(条件1) 予定価格を下回る価格の入札をした競争参加者の中から、

(条件2) 価格点と技術点の合計点(総合評価点)が最も高い者



価格点 50点



技術点 100点

合計点 150点

入札価格の評価方法:

$(1 - \text{入札価格} \div \text{予定価格}) \times 50$

予定価格1,000万円・入札価格800万円の場合

→ $(1 - 800 \text{万円} \div 1,000 \text{万円}) \times 50 = 10 \text{点}$

技術点の評価方法:

技術提案書等から100点満点で採点

※基礎点45点(必須)＋加点55点

※技術審査委員会で厳正に審査する

総合評価基準

技術点評価

加点付与基準

別紙 1

令和 7 年度「誰もが気軽にスポーツに親しめる場づくり総合推進事業
(地域スポーツの場づくり普及啓発事業)」

に係る評価項目及び得点配分基準

* : 必須の項目 ● : 価格と同等に評価できない項目

分類	評価項目及び評価基準	基礎点	加点
	1 事業内容に関する評価 【50点】	25	25
	1-1 事業内容の妥当性、独創性	10	10
●	* 1-1-1 事業の目的及び趣旨との整合性がとれていること。 * 1-1-2 仕様書記載の事業内容について全て提案されていること。 〔仕様書に示した内容以外の独自の提案がされていれば、その内容に応じて加点する。〕	5	10
	1-2 事業の実施方法の妥当性、独創性	10	10
●	* 1-2-1 事業の実施方法が妥当であること。〔その手法に事業成果を高めるための工夫があればその内容に応じて加点する。〕 * 1-2-2 事業の実施方法や手順が明確であること。	5	10
	1-3 作業計画の妥当性・効率性	5	5
●	* 1-3-1 各事業の日程・手順等に無理がなく目的に沿った実現性があること。〔各事業の日程・手順等が効率的であれば加点する。〕	5	5
	2 組織の経験・能力 【22点】	12	10
	2-1 組織の類似事業の経験	—	4
	2-1-1 過去に「誰もが気軽にスポーツに親しめる場づくり総合推進事業」に関する類似の事業を実施した実績があればその内容に応じて加点する。	—	4
	2-2 組織の事業実施能力	12	3
	* 2-2-1 事業を遂行する人員が確保されていること。 * 2-2-2 幅広い知見・人的ネットワーク・優れた情報収集能力を有していれば加点する。 * 2-2-3 事業を実施する上で適切な財務基盤、経営能力を有していること。	6	3
	2-3 事業実施に当たってのバックアップ体制	—	3

別紙 2

令和 7 年度「誰もが気軽にスポーツに親しめる場づくり総合推進事業
(地域スポーツの場づくり普及啓発事業)」に係る加点付与基準

加 点 評 価 項 目	評 価 区 分		
	大変優れている	優れている	やや優れている
1 事業の実施方針			
* 1-1-2 仕様書に示した内容以外の独自の提案について	10	6	2
* 1-2-1 手法に事業成果を高めるための工夫について	10	6	2
* 1-3-1 各事業（イベント開催含む）の日程・手順等の効率性について	5	3	1
2 組織の経験・能力			
2-1-1 類似調査の実績内容について	4	2	1
2-2-2 幅広い知見・人材ネットワーク・優れた情報収集能力について	3	2	1
2-3-1 円滑な事業遂行のための人員補助体制について	3	2	1
3 業務従事予定者の経験・能力			
3-1-1 業務従事予定者が過去に「誰もが気軽にスポーツに親しめる場づくり総合推進事業」に関する類似の事業をした実績について	5	3	1
3-2-2 事業内容に関する人的ネットワークについて	5	3	1
4 ワーク・ライフ・バランス等の推進に関する指標			
4-1-1 仕様書に示した内容以外の独自の提案について ○女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）に基づく認定（えるぼし認定企業）等 ・認定段階 1（労働時間等の働き方に係る基準は満たすこと） ・認定段階 2（労働時間等の働き方に係る基準は満たすこと） ・認定段階 3 ・プラチナえるぼし認定企業 ・行動計画策定済（女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画の策定義務がない事業主（常時雇用する労働者の数が 100 人以下のもの）に限る（計画期間が満了していない行動計画を策定している場合のみ）） ○次世代育成支援対策推進法（次世代法）に基づく認定（くるみん認定企業・トライくるみん認定企業・プラチナくるみん認定企業） ・くるみん認定①（平成 29 年 3 月 31 日までの基準）（次世代法施行規則等の一部を改正する	複数の認定等に該当する場合は、最も配点が高い区分により加点を行うものとする。		
		2	
		3	
		4	
		5	
		1	
		2	

評価基準・得点配分基準・加点付与基準に基づき評価

提出書類

(1) 入札参加資格を確認するための書類

- ① 入札参加資格認定通知書写し
- ② 誓約書(別紙4)

(2) 総合評価のための書類

- ① 技術提案書(任意の書式)
- ② 参考見積書・証憑書類
- ③ ワーク・ライフ・バランス等の認定書(該当する場合のみ)
- ④ 賃上げ表明書(別紙5_該当する場合のみ)

令和7年4月11日(金) 12時までに提出



・電子メールにて提出すること
(stiiki@mext.go.jp)

・メール題名、添付ファイル名は以下
で統一してください。
【提出者名】+ 事業名

(3) 入札のための書類

- ① 入札書(別紙2)
- ② 委任状(別紙3_該当する場合のみ)

令和7年4月11日(金) 12時までに提出



郵送又は手渡しにて、スポーツ庁参事官
(地域振興担当) 付に提出すること
※メール・FAXは不可

(1)「①入札参加資格認定通知書写し」について

文部科学省競争参加資格(全省庁統一資格)において、令和7年度に「役務の提供等」のA、B、C又はD等級に格付けされている者であること。令和7年度の資格を申請中で開札日の時点で資格を取得していない場合は、入札書等 受領期限までに令和6年度の資格審査結果通知書の写しを提出すること。その場合には、後日、契約締結時までに、令和7年度の資格を提出すること。なお、競争参加資格を有しない競争加入者は、速やかに資格審査申請を行う必要がある。調達ポータルを確認し、資格審査申請を行うこと。

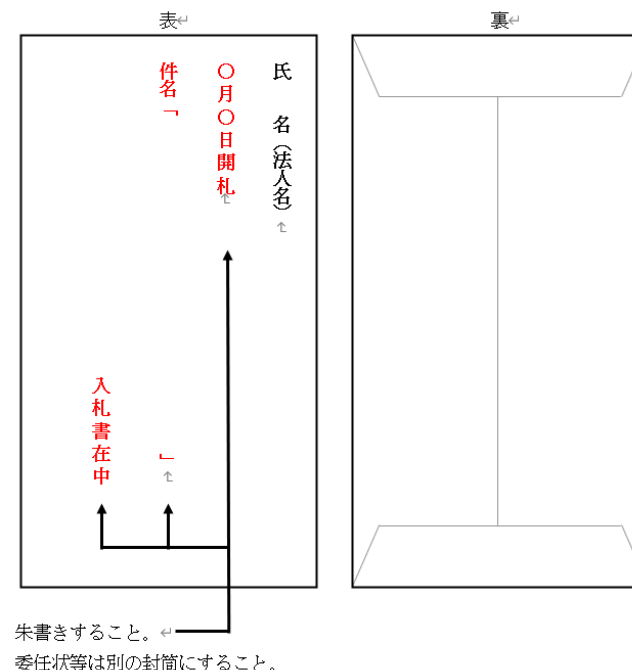
(3)「②入札書(別紙2)」について

5月1日(木)開札

件名: 令和7年度令和7年度「誰もが気軽にスポーツに親しめる場づくり総合推進事業(地域スポーツの場づくり普及啓発事業)」

※税抜き価格を記載

※予定価格を超える入札価格の場合は対象外となる



令和7年3月21日(金)

入札公告(公募開始)

本日

令和7年3月28日(金)

入札説明会(オンライン)

令和7年4月11日(金)12時

入札受領期限

→前掲「提出書類」の提出期限

令和7年4月11日～30日

技術審査委員会・予定価格決定

令和7年5月1日(木)14時 開札(文部科学省 開札室)

採択された際は事業計画書と一緒に根拠資料の提出も
必要となりますので事前にご準備ください

ご不明な点がございましたら、

挙手  ボタンより手を挙げてご質問ください。

